

ESG投資の手法とその定義

	投資手法	定義
1	ネガティブ・スクリーニング	特定のセクターや個別企業を投資先から除外する
2	ESGインテグレーション	投資マネジャーが財務分析に環境、社会、ガバナンスの要素を体系的かつ明示的に組み込む
3	エンゲージメントと議決権行使	ESGの課題について、株主として議決権行使等を用いて企業に対して働きかける
4	規範に基づくスクリーニング	ESGの国際規範(OECD、ILO、UNICEF等の国際規範)に違反した企業を投資先から除外する
5	ポジティブ・スクリーニング	各セクター内でESGの評価が高い企業に投資する
6	サステナビリティに関するテーマ投資	サステナビリティに関するテーマや資産に対して投資する(クリーンエネルギー、グリーンテクノロジー、持続可能な農業等)
7	インパクト投資・コミュニティ投資	社会問題・環境問題を解決することを目的として投資する

(出所) GSIA「Global Sustainable Investment Review 2016」より投資信託協会作成

(注) GSIA(Global Sustainable Investment Alliance)(世界持続可能投資連合)は、サステナブル投資を普及するための国際組織